

シリーズ3

日本史年号を覚えてしまおう（2）

このシリーズ第二弾、「中世編」です。

ところで、「古代」や「中世」って、いつの時代ですか？

「古代」は「弥生時代から平安時代（院政期の前）」までですよ。縄文時代以前は「原始」になります。今回の「中世」は「平安時代末期の院政期から室町時代」までになります。

年号なんて、試験・入試がなければ覚えなくてもいいようなものですね。

しかし、**年号を覚えておくの良いことがあります。**

それは、「時代感覚・間隔が研ぎすまされる」ということです。 代表的な年号や有名な人物の活躍した年代を覚えていれば、歴史的な流れが理解しやすくなるし、覚えていた年号によって順番もわかってきます。時代の「感覚」＝「フィーリング」や「間隔」＝「インターバル」もわかってきますよ。

「覚えられない」「覚えても仕方がない」とマイナスイメージで考えないで、「覚えたら時代感覚・間隔が研ぎ澄まされるんや！」「覚えられないことはない！」というようにプラスイメージで考えていきましょう。そういうふうに分を持っていければ、思ったより簡単に覚えられますよ。

ただ、覚える場合の原則（例えば「集中しないと覚えられない」「繰り返して覚える」など）も忘れないでくださいね。

年号語呂合わせ <中世編>

1185	いい箱 作ろう 鎌倉幕府	守護・地頭の設置 →鎌倉幕府創設
1192	いい国 作ろう 鎌倉幕府	源頼朝、征夷大將軍に
1221	人に 不意なり 承久の乱 義時は 一気に不意打ち 攻落とす	承久の乱起きる
1225	十二分に 合議する 評定衆	評定衆の設置（泰時）
1232	泰時は 貞永式目 一文に	御成敗式目の制定
1247	一緒に 死なんと 三浦一族	宝治合戦三浦氏滅亡
1249	胃に よくきく 引付衆	引付衆の設置（時頼）

1274	日本など まるで意になし 蒙古軍	文永の役
1281	いつも 敗走 蒙古軍	弘安の役
1297	皮肉な 結果の 徳政令	永仁の徳政令
1317	いざ 一つになれと 文保の和談	文保の和談
1333	一味 さんざん 北条氏	鎌倉幕府の滅亡
1334	勇み 喜ぶ 建武の新政	建武の新政開始
1336	いざ 去ろう 吉野の山へ	後醍醐天皇、吉野へ
1338	瞳 さわやか 尊氏開幕	足利尊氏、征夷大將軍に
1351	いざ来い 兄弟でも 容赦せず	観応の擾乱
1352	いざ 公認せん 半済令	半済令の実施
1392	いざ 国はひとつ 南北朝合体	南北朝合一
1394	富くじ 引いたよ 義満大臣	足利義満太政大臣に
1404	投資を しないで 勘合貿易開始	日明貿易開始
1428	一緒に やろう 正長の土一揆	正長の徳政一揆
1441	義教は 一夜の酔いで 殺された	嘉吉の乱
1467	一夜 むなしい 応仁の乱	応仁の乱開始
1485	意志は いつまでも 山城国一揆	山城国一揆勃発
1488	人世 はばかり 一向一揆	加賀の一向一揆勃発
1510	三浦の乱 以後遠くなる 日朝貿易	三浦の乱
1523	寧波で 以後踏みつけあう 大内・細川	寧波の乱
1536	以後 見向きもされず 日蓮宗	天文法華の乱
1543	銃の ご予算 高かった	種子島に、鉄砲の伝来
1547	以後 しなくなる 勘合貿易	最後の勘合船
1549	以後 よく来る 宣教師	ザビエル来日
1573	以後 涙の 足利氏	室町幕府の滅亡

※参考にさせていただいたのが『日本史重要年代 550 記憶法』（山川出版社）、さらに菅野祐孝先生や石川晶康先生の本（たくさんあり、特定できません）です。